



ホームシアター用スクリーンに 世界初の HDR スクリーン、広階調型“レイロドール” 第 4 のスクリーンとしてオーエスが開発に成功。

株式会社オーエスプラス e（本社：東京、代表：奥村正之）は、HDR（※1）プロジェクター適合の広階調型 HDR スクリーン“レイロドール：生地型式 HF102”を 3 年間の歳月を経て開発に成功し、発表いたします。HDR はハイ・ダイナミック・レンジの略称で、従来の階調域を広げ、できる限り人間の目の感じる階調に近づけようという映像処理技術です。

HDR に対応した映像は、明るい部分の調子が飛ぶ事無く、しかも暗部のディテールも出せる技術により生まれました。プロジェクターの HDR 映像を再現するには、従来の拡散型のホワイトマットでは満足な明るさが得られません。一方ビーズなどのハイゲインスクリーンでは明るさに比べ、影の調子も黒浮きを感じるうえ、視野角が狭くなり光軸のセンターから少し離れると極端に画質が変わってしまいます。

広階調型スクリーン“レイロドール：HF102”は、ゲイン 2.7（※2）と言うシルバースクリーン（※3）並みのゲインを確保しながらホットスポット（※4）を抑えて均質な映像を結び、太陽の輝きから陽の当たらない影の部分までの階調を、詳細に表現することを可能にするスクリーンです。また高ゲインスクリーンのように狭い視野角に縛られることなく、快適な視聴位置を得られるようビューイングアングル（※5）を緩やかに保つことにも成功いたしました。

拡散型ホワイトタイプ、回帰型ビーズタイプ、反射型パールタイプに次ぐ第 4 のタイプ、広階調型 HDR タイプの誕生です。レイロドールは HDR 対応プロジェクター登場により、より本格的なホームシアター構築を期待する層待望の HDR スクリーンです。

今後はスクリーンを取り付ける機構とのテストを繰り返し、本年 10 月販売へ向けて開発を重ねてまいります。

商品名 : **オーエス HDR スクリーン レイロドール**

生地型式 : HF102

HDR スクリーン生地名称

希望小売価格 : 未定（2017 年 10 月予定）

発売予定日 : 未定（2017 年 10 月予定）

レイロドール

ホームページ : https://jp.os-worldwide.com/os_plus_e/

「レイロドル：HDRスクリーンの主な特長」

- HDR対応プロジェクターの広い階調を生かすスクリーン。
- ゲイン2.7の高ゲイン（輝度）スクリーン。
- ホットスポットを生じる事のほとんどない表面加工。
- 中心から離れても快適な視聴ができる視野角を確保。
- ピュアマットの伝統を受け継ぐファブリックスクリーン。

注※

※1/HDR：従来のダイナミックレンジ（SDR）よりも、輝度の表現可能範囲を拡大し、人間の目のダイナミックレンジに近づけようという技術。

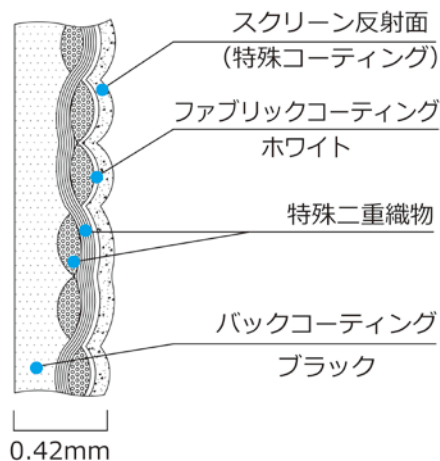
※2/ゲイン：スクリーンの反射特性明るさ1の光源を1跳ね返す単位が、ゲイン1.0。

※3/ホットスポット：光軸を中心に円状の極端に明るい部分を生じる事。

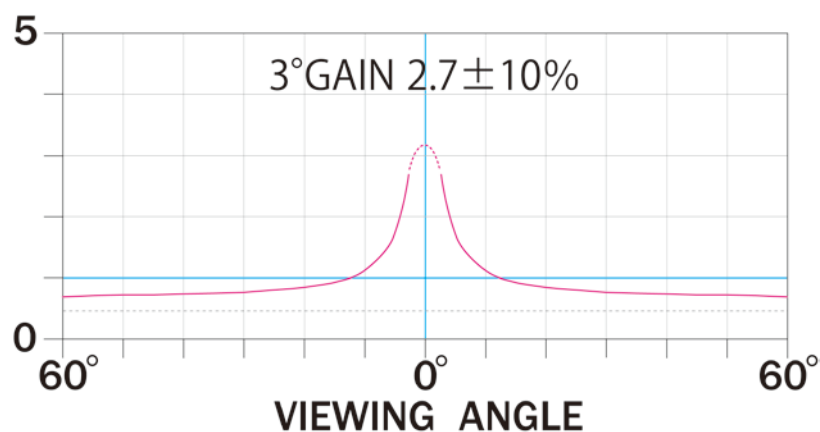
※4/シルバースクリーン：主に映画館などの偏光式3Dの投写に使用されるスクリーン生地。

※5/ビューイングアングル：光軸の中心から視野角60°までのゲイン曲線。

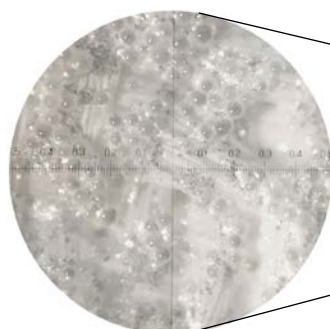
■ 生地断面図



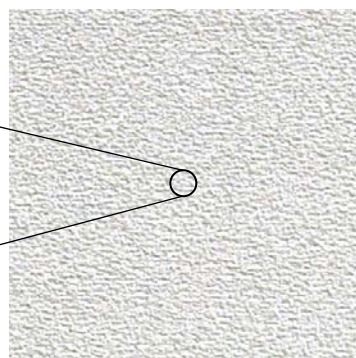
■ ビューイングアングル



■ レイロドル(HF102)顕微鏡写真



■ 2×2cm 生地拡大



《製品に関するお問合せ先》

株式会社オーエスプラス e コンタクトセンター 東京都足立区綾瀬 3-25-18
TEL.0120-212-750 FAX.0120-380-496 E-mail e.info@os-worldwide.com
※接続できない場合には、次の番号をご利用ください。
TEL.03-3629-5211 FAX.03-3629-5214

《本ニュースに関するお問合せ先・ニュース発信者》

株式会社オーエス マーケティング課 藤枝 昭 東京都足立区綾瀬 3-25-18
TEL.03-3629-5356 FAX.03-5697-0990 E-mail a.fujieda@os-worldwide.com

《株式会社オーエスプラス e 会社概要》

名称 : 株式会社オーエスプラス e
本社 : 東京都足立区綾瀬 3-25-18 https://jp.os-worldwide.com/os_plus_e/
創業 : 2000 年 10 月
資本金 : 1000 万円
代表者 : 代表取締役 奥村正之
事業内容 :

2000 年 10 月 12 日創業以来、日本市場に「家庭で映画を」と言う、ホームシアター文化を提案・構築。オーエスグループの中でも、最もエンドユーザーに近い企業として、グループ全体のスローガンである「キモチをカタチに」の実現を目指す。映像文化に関する幅広い取り組みを推進し、業績拡大を目指す。

《関連企業》

株式会社オーエス	本社：大阪市西成区	https://jp.os-worldwide.com
株式会社オーエスエム	本社：兵庫県宍粟市	https://jp.os-worldwide.com/osm/
株式会社次世代商品開発研究所	本社：兵庫県宍粟市	https://jp.os-worldwide.com/njmc/
株式会社オーエスピー沖縄	本社：沖縄県中頭郡	https://jp.os-worldwide.com/osb/
OSI CO., LTD.	: 香港	https://hk.os-worldwide.com
奥爱斯商贸(北京)有限公司	: 中華人民共和国	http://www.os-worldwide.com.cn

《日本総販売代理店》

Optoma (台湾)	/ 世界トップクラスの DLP プロジェクターメーカー
Vogel's (オランダ)	/ フラットディスプレイなどのスタイリッシュハンガーメーカー
SCREEN RESEARCH (イタリア)	/ THX、ISF 公認のサウンドスクリーン
AV Stumpfl (オーストリア)	/ 画像処理技術で世界的に定評あるメーカー